

事業所名

運動・言語療育Schoolあみ吹田校

支援プログラム

作成日

R7

年

3

月

28

日

法人（事業所）理念		運動療育を通して利用者のADL/QOLの向上を図ります。									
支援方針		リハビリ専門職員と保育士が連携を図り、運動療育と言語療育プログラムを提供する。集団での運動療育を通して、小学校生活で必須な、順番を守るや先生の話聞く等の能力の学習も行っていきます。運動では体幹・下肢筋力の向上やバランス能力の向上を目指し支援します。									
営業時間		10	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	ADLの向上を目指し支援します。健康面では、運動を通して活動量の向上を図ったり、運動を通して健康面や生活面の向上を図ります。									
	運動・感覚	運動療育を通して、体幹や下肢・バランスのトレーニングを行います。小学校生活になり始まる、縄跳びや跳び箱・鉄棒の練習も行っていきます。運動療育では、2重課題を通してお子さまの脳へのアプローチを行います。運動療育では、さまざまな運動を通してお子さまの活動量を上げ、身体機能の向上を目指します。									
	認知・行動	運動療育を集団で行い、その中でルールを理解や感情の切り替え・お友達と協力する等の能力向上を目指して支援しています。してはいけない行動や今何をしないといけないのかを、支援時間を通して学習してもらいます。									
	言語 コミュニケーション	小集団の中でお友達のおもちゃの貸し借り等を通して言語の活性化を図ります。コミュニケーションはスタッフが行うソーシャルスキルトレーニングを通しても行っています。									
	人間関係 社会性	保育スタッフやお友達との関わりの中で、人間関係や社会性の学習を行います。アスペルガーやADHDのお子さまは、人との距離感がわからなかったり、一方的に話をしがちなので、ソーシャルスキルトレーニングを行い、社会性や人間関係の構築に関して学習を行います。									
家族支援		本児の事業所での様子や成長面などについて、保護者への報告や連絡などを療育終了後に行い、本児の困りごとに対する相談等について、児童発達支援管理責任者や各専門職も交えたご対応をさせていただきます。				移行支援		保護者からのご希望に応じて、本児の課題や困りごとに対して保育園への訪問による観察や園関係者との情報共有・連携についても実施いたします。情報共有につきましては園の担当者とも密に連携をとり、本児の園での現況の把握に努めていきます。			
地域支援・地域連携		各関係者との情報共有や、連携などを実施するとともに、各種の関係機関に対しても、保護者等からの希望があれば本児の課題や困りごと・支援の方法などについて情報共有や連携などを実施してまいります。				職員の質の向上		月1回の事業所内研修や外部研修を通してスタッフの能力向上を行っています。			
主な行事等		行事等は基本的に行っていませんが、今後は親子教室のような形で、普段の様子を見ていただく機会を作っていくように取り組んでいきます。									